



まきの木

令和5年 9月22日
堀津小学校



▲学校HPへ

学校の教育目標『心豊かに伝え合い たくましくやりぬく子』

輝ける子に育つとっても大切なこと

前期が終わります。家庭でも学校でも同じですが、輝ける子に育てるためにも大切なこと、それは、「自分を肯定できる」「大切な人間なんだ」という存在価値のある人間に育てていくことです。

赤ちゃんならスキンシップ

抱いて目を合わせて 笑顔で話しかける

これだけで 赤ちゃんは大事にされていると感じます

「抱き癖」なんてありません。「抱っこ」は赤ちゃんにとってすごく気持ちのよい自己肯定感があがることです。

赤ちゃんの甘えは、泣くこと=そんなときは、抱っこして、頭をなでてキスすると安心感、大事にされていると感じます。

大きくなって話せるようになったら

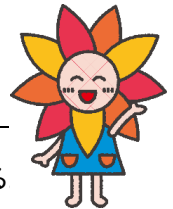
真剣に話を聞くことで、「あなたは大切な存在だ」と伝えることができます

- ・話を聞いているようで自分の話になっていませんか。「おれが、小学校のころはな～、…」
- ・大きく「そうか」「そうか」とうなずいて聞く。相手の言葉を繰り返す。=傾聴 「そうか、くやしかったんだね」
- ・「がんばれ」よりも「がんばっているね」と認める。
- ・「ありがとう」の言葉をどんどん使う。
- ・Iメッセージで伝える。「○○してくれるとお母さんはうれしいよ」

子供の心は、反抗と依存を繰り返して大きくなる

甘えとは「依存」反抗とは「自立」。これを行ったり来たりして子供は大きくなります。

- ・甘えていない人が自立するのではなく、十分、甘えた人が自立する。
- ・10歳までは徹底的に甘えさせる。家族で遊ぶ、いっしょに料理する、考えを聞いたり話したりする
- ・甘えさせることと甘やかすことの違いを考える。→できることまでやっていませんか。
- ・甘えてこない子は、スキンシップや接する時間を増やす。



叱るときの注意

- ・全人格を否定するような叱り方はしない。…「おまえなんてだめなやつだ」「根性がくさっとるな」
- ・何を叱られているのかわかる叱り方を。…「○○するのはよくない」
- ・今後叱られないようにするためにどうするか考えさせる。
- ・サンドイッチ法で話す。→よいこと+注意+よいこと、これが子供をやる気にさせる。

子供は、自己中心的で失敗するものでなかなか言うことを聞きません。それを理解していながらついむきになってしまいます。誰でも、そう感じる瞬間はあります。そんなときは、深呼吸して、「もうやめたなんて」思うことも大事です。そうして、また一緒に、がんばっていきましょう。

「子育てハッピーアドバイス」より 著:明橋大ニ

花いっぱい、かがやきいっぱい!

美化・環境委員会の子供たちが育ててきた花壇やプランターの花が見頃を迎えています。今年度は、猛暑だったので、水やりも大変でした。



先日、FBC(フワ・ブ・ホー・ソール)審査会では、昨年度に続き優良校に認められ、中央審査会まで進みました。



結果が楽しみです。

お知らせ

・秋季休業日について

キッズウィークとして、秋季休業日は下記の日程となります。秋季休業中は English Day in 羽島のイベントやプログラミング教室、サイエンス★クラフトも開催されます。

10月 6日(金) 前期終業式

10月7日～10月11日まで秋季休業日

10月12日(木) 後期始業式

※両日とも、給食ありの通常日課です。

・プロジェクターの寄贈

「ふるさと学習」の実践が素晴らしいということで、一般財団法人総合初等教育研究所より、プロジェクターが贈られました。

子供たちがまとめの会で、プレゼンをスクリーンに投影して、ダイナミックに発表ができることより学習が楽しくなります。ありがとうございました。